

ふじのくに野外芸術フェスタ 2024 静岡  
SPAC 音楽劇 『白狐伝』  
故 葉山陽代の代役として、宮城聡が出演

プレス関係各位

平素より、SPAC-静岡県舞台芸術センターに格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

SPACの俳優・葉山陽代が令和6年3月31日、急病により逝去いたしました。葉山は2010年よりSPACに在籍し、『ガラスの動物園』のアマンダ役、『桜の園』のラネーフスカヤ役など数々の主要キャストを演じ、観客を魅了してきました。

5月に上演するSPAC音楽劇『白狐伝』において、葉山は主人公コルハ役（スピーカー＝話者）で出演を予定しておりましたが、このたびの急な事態を受け、出演者・スタッフ一同で話し合いを持ち、故人を追悼する意味も含め、公演は既報の日程で実施いたします。また、葉山の代役として演出の宮城聡が出演することとなりました。

ここに謹んで追悼の意を捧げ、皆様にお知らせさせていただきます。

SPAC-静岡県舞台芸術センター



葉山陽代（はやま・はるよ）（2021年まで鈴木陽代として活動）

埼玉県生まれ。宮城聡演出・ク・ナウカ『サロメ』をきっかけに、演技経験のないままオーディションを受けて合格し、現在に至る。2010年よりSPACに在籍し、数々の主要キャストを演じる。宮城演出作品以外にも海外演出家の作品に多数出演。SPACでの主な出演作は、『室内』『顛れ～女神イニエの涙～』『ガラスの動物園』『桜の園』『お艶の恋』。  
享年51歳。

ふじのくに野外芸術フェスタ 2024 静岡  
SPAC 音楽劇

## 『白狐伝』

公演日時：5月3日[金・祝]、4日[土・祝]、5日[日・祝]、6日[月・振休]

各日19:00開演

会場：駿府城公園 紅葉山庭園前広場 特設会場

演出・台本：宮城 聡 作：岡倉天心(『THE WHITE FOX』)

音楽：棚川寛子

出演：美加理、葉山陽代に代わり 宮城聡

池田真紀子、内山怜菜、大内米治、大高浩一、加藤幸夫

河村若菜、貴島豪、榎原有美、桜内結う、鈴木真理子

舘野百代、寺内亜矢子、藤見花、布施安寿香、本多麻紀

森山冬子、吉植荘一郎、若菜大輔、渡辺敬彦



ふじのくに野外芸術フェスタ 2024 静岡『白狐伝』に関するお問い合わせや取材のご希望は、  
SPAC-静岡県舞台芸術センター 広報担当 坂本 までご連絡下さい。

Tel : 054-208-4008 (静岡芸術劇場) / Fax : 054-203-5732 / E-mail : koho@spac.or.jp

## 【『白狐伝』作品概要】

## 駿府城に現れる狐火——岡倉天心の幻のオペラ台本が今蘇る！

日本そしてアジアの美を世界に知らしめた智の巨人、岡倉天心。近代化・西欧化一辺倒の明治末期、日本にも欧米にも絶望していた天心の遺した物語がいま、宮城聡とSPACに手渡されます。日本で歌舞伎に親しみ、アメリカでオペラに親しんだ天心が、今後の世界への灯火（ともしび）とすべく死を前に英語で書き残したオペラ台本『THE WHITE FOX』。宮城聡が新たに台本化し、SPACが長年磨き上げてきた「二人一役」の手法と、俳優による生演奏、音楽性あふれるセリフ術、その唯一無二の劇的空間の中で、天心の最後の夢が形を現します。あたかも一夜、駿府城に現れる狐火のように…

## 千年以上語り継がれてきた愛の物語が、自然と人間の関係を静かに問う。

超自然的な力を持つ白狐コルハと人間が織りなす愛の物語。『白狐伝』の元となる「葛の葉伝説」は「信太妻（しのだづま）」として歌舞伎や文楽をはじめ様々な文学芸能でも親しまれ、長く語り継がれてきました。自然は人間が支配し収奪する対象ではなく、人間は自然の一部にすぎない。かつてたしかにあった人間の謙虚さに、もういちど気づいてほしいと願う、天心のかすかな希望。『白狐伝』で奏でようとしたその強い想いは、自然破壊が進む現代においてより重みを増している。宮城聡の最新作は、現代世界における演劇の最大テーマの一つである「環境」を扱った作品となる。

『白狐伝』あらすじ：狐のコルハは殺されそうになったところを人間の男ヤスナに救われる。ヤスナの恋人クズノハが悪者にさらわれ、同情したコルハはクズノハに姿を変えてヤスナの前に現れ、二人は幸せに暮らす。数年が経ち、クズノハが無事であることを知ったコルハは…

## 演出家プロフィール



## 宮城 聡（みやぎ・さとし）

1959年東京生まれ。演出家。SPAC-静岡県舞台芸術センター芸術総監督。東京大学で小田島雄志・渡邊守章・日高八郎各師から演劇論を学び、90年ク・ナウカ旗揚げ。国際的な公演活動を展開し、同時代的テキスト解釈とアジア演劇の身体技法や様式性を融合させた演出で国内外から高い評価を得る。2007年4月SPAC芸術総監督に就任。自作の上演と並行して世界各地から現代社会を鋭く切り取った作品を次々と招聘、またアウトリーチにも力を注ぎ「世界を見る窓」としての劇場運営をおこなっている。17年『アンティゴネ』を仏・アヴィニョン演劇祭のオープニング作品として法王庁中庭で上演、同演劇祭史上初めてアジアの劇団が開幕を飾った。他の代表作に『王女メデシア』『マハーバーラタ』『ペール・ギュント』など。近年はオペラの演出も手がけ、22年6月に世界的なオペラの祭典、仏・エクサン・プロヴァンス音楽祭にて『イドメネオ』、同年12月には独・ベルリン国立歌劇場における初の日本人演出家として『ポントの王ミトリダテ』を演出し大きな反響を呼んだ。04年第3回朝日舞台芸術賞受賞。05年第2回アサヒビール芸術賞受賞。2018年平成29年度第68回芸術選奨文部科学大臣賞受賞。19年4月フランス芸術文化勲章シュヴァリエを受章。23年度第50回国際交流基金賞を受賞。

◎チケット販売中 チケット情報は特設サイトをご覧ください。 <https://festival-shizuoka.jp>

[全席自由] 上演時間：100分以内 日本語上演／英語・中国語・韓国語字幕

プレトーク：18:15より 特設会場前にて（SPAC文芸部 大岡淳）

プレパフォーマンス「ミニびゃっこでん」：18:30より 特設会場前にて（県立清水南高等学校芸術科演劇専攻）

主催：ふじのくに野外芸術フェスタ実行委員会 製作：SPAC-静岡県舞台芸術センター

## 浜名湖花博2024にて SPAC『白狐伝』上演決定！

5月25日(土) 開演時間未定

会場：浜松ガーデンパーク 屋外ステージ \*無料/花博会場への入場券(有料)が必要です。

## ふじのくに野外芸術フェスタ

広場や公園、路上など、身近な場所で演劇に出会えるお祭り「ふじのくに野外芸術フェスタ」。2013年より静岡市・浜松市・三島市・藤枝市・掛川市・袋井市など県内各地で、国内外のアーティストが野外パフォーマンスを行ってきました。2016年からは、SPAC主催の国際演劇祭「ふじのくにせいかい演劇祭」と「ふじのくに野外芸術フェスタ静岡」を同時開催しており、毎年全国から来静した2,000名を超える観客が開放的な野外空間での観劇を楽しんでいます。

ふじのくに野外芸術フェスタ 2024 静岡『白狐伝』に関するお問い合わせや取材のご希望は、SPAC-静岡県舞台芸術センター 広報担当 坂本 までご連絡下さい。

Tel：054-208-4008（静岡芸術劇場） / Fax：054-203-5732 / E-mail：koho@spac.or.jp